

1ねん なつやすみのくらし

いよいよあしたから たのしみにしていた なつやすみが はじまります。ながいなつやすみを たのしくすごすために、なつやすみのくらしを しっかりよんで きまりをまもりましょう。

1 せいかつのもめあて

- ①せいかつりずむを くずさないように、まいにちの「はやね、はやおき、あさごはん」をつづけましょう。
- ②おかねやげえむのやりとり、こうかんは ゼッたいにしません。
- ③ようじがないときには、あさ10じまでは おうちですごしましょう。ゆうがたは 6じまでに かえります。
- ④ひるごはんは ともだちのいえでは たべません。おとながいない いえには はいりません。
- ⑤ともだちのいえには とまりません。
- ⑥ちいきのひとにあつたら げんきよく きもちのよいあいさつをしましょう。



2 あんぜんのもめあて

- ①じてんしやは きまりをまもって のりましよう。(へるめっとをかぶる、「とまと」をまもる)
- ②かわ、こうじげんば など あぶないばしょでは あそびません。
- ③ひあそび、いしなげなど あぶないあそびは しません。
- ④はなびは かならず おとのひとと いっしょにしましょう。
- ⑤こどもだけで うみや かわに いきません。あそびません。
- ⑥しらないひとについていきません。



3 けんこうのもめあて

- ①そとで げんきに あそびましょう。みずも しっかり のみましよう。
- ②ねっちゅうしょに ならないように、そとでなにかするときは ぼうしをかぶりましょう。
- ③なつやすみのあいだに むしば、め、みみ、はなのちりょうを しましょう。
- ④てあらい、うがい、かんきにきをつけて、ころなういるすに かかるないようにしましょう。



4 がくしゅうのもめあて

- ①1がっきに がくしゅうした ひらがな、たしざん、ひきざんを なつやすみに もう1かい やりましょう。
- ②しゅくだいは はやめにして、2がっきのしきょうしきに ぜんぶそろえて だします。

<なつやすみの しゅくだい>

- なつやすみの かんせい(こたえは がくしゅうかいで くぱります)
- えにっき(3まい)
- おんどく
- さくひんぼしゅう・じゅうけんきゅう →やってみたいひとは とりくみましょう。
- うんどう、おてつだい、あさがおの かんさつ(みずやりを しましょう)

5 2がっきの しきょうしき 9がつ1にち(もく) いつもどおりです。きゅうしょくあり。

- <もってくるもの> しゅくだい、えふろん、しゅうす、はみがきせと、ぞうきん(なまえをかく)、ふでばこ、けんこうかあと、けんこうかれんだあ、ちりようかあと、はさみ、のり、くうぴい、がくしゅうのじゅんび
<じかんわり>①がっかつ ②ぎょうじ(しきょうしき) ③こくご ④さんすう ⑤がっかつ(ばす2:40)

[なつやすみに がっこうに くるひ]

- 8がつ25にち(もく) 10じ~11じ30ふん がくしゅうかい

すぐるばすは いつもの2じかんおくれで しゅっぱつします。とうこうはんではなく じぶんできます。
ちかくのひとが いるときは いっしょに きましょう。